

# ふかまちのまど

第一五号 〇三年二月日  
発行元 深町町内会連合会  
連絡所 西本一三三八二

## 町内会連合会活動報告

敬老会 (十月二六日)

本年は小学校のご協力を頂き十一時から学習発表会を一時間余り観覧し、可愛い児童の演技を楽しみました。  
その後、記念写真、西本会長のお祝いの言葉に続き、幸谷尚寿会長の乾杯発声で祝宴に入りました。

来賓出席の五藤市長・敷本校長から祝辞を頂き、ポランティアの市文化スポーツ課の宮里係長が手品を披露され好評でした。記念品(男性は拡大鏡、女性はベスト)を欠席者を含めて全員に贈りました。  
本年は七五才の十五人が加わり、対象者は五年ぶりに一二九人に増加しました。当日出席者は三六人に止まり、折角のお祝いなのに少し淋しく感じました。本年も女性会のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。  
(事務局) ▲

## 農家の皆さんへ



所得税の確定申告の際、水稻の農業所得の算出は平成十六年分から、実際の米や野菜等の販売による収入金額から必要経費を引いて計算する「収支計算」による申告方法に移行することとされています。  
ついでには、農業所得の金額の計算に必要ですから、十六年一月一日から農業の取引に関する書類(領収証、請求書等)は必ず保管しておいてください。

- 収入金額に関するもの
  - \* 農産物の販売金額の分かるもの
  - \* 預金通帳
  - \* 領収証(控)
- \* 自家消費した農産物の数量等
  - \* 種類・数量を記したメモなど
- 必要経費に関するもの
  - \* 小作料・賃借料・領収証
  - \* 租税公課・固定資産税の通知書、領収証
  - \* 減価償却費・購入契約書、領収証
  - \* その他の経費・肥料・農薬等の領収証など

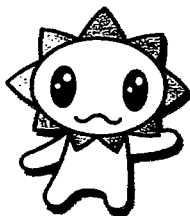
▽詳しくは

三原税務署(電話62-13131)又は、  
三原市役所(電話64-12111)へお問い合わせください。

(ふかまちのまど編集室) ▲

## 祝 深町壮青会表彰

三原市青少年育成の集い  
第18回 三原市青少年育成の集い



三原市青少年育成の集いが十一月三日文化の日に、三原リジョンプラザにおいて、三原市教育委員会主催、三原浮城ライオンズクラブの共催で開催された伝統的文化の継承、青少年育成活動をしている模範団体、個人の表彰式等がありました。  
深町では壮青会(代表・為清敏治さん)が昭和六十一年から深町の伝統的文化の太鼓踊を継承し、深小の児童、如水館中学校の生徒に指導活動をしていけるのが認められ、青少年模範活動団体として、市教育委員会から表彰を受けました。太鼓踊りの体験発表(別掲)「深小だより」を深小六年の前田依里さんが行ないました。  
団体表彰は深町と木原の二地区でした。

また、日常生活のなかで考えていることや、体験したことを書いた深小二年の中重恵介さんの作文が小学校低学年の部で入選し、三原浮城ライオンズクラブから表彰されました。▲

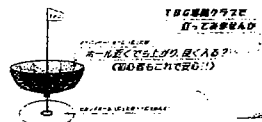
## 三原市民ターゲットボードゴルフ大会で優勝等上位入賞独占の快挙!

十一月十六日(日)、第七回三原市民ターゲットボードゴルフ大会が、三原運動公園で開催されました。  
全市で二八チームの参加がありましたが、深町から三チームが出場しました。  
深町は、団体で優勝、準優勝、個人でも二位、三位の大健闘でした。

### ○団体

- 優勝チーム 西本一三三
- 谷岡 義昭
- 巻幡 幸秀
- 準優勝チーム 梶谷 和伸
- 久保 正則
- 烟中 資史
- 個人
- 準優勝 谷岡 義昭
- 三位 烟中 資史

(連合会会長 西本一三三) ▲



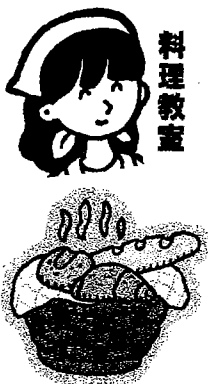
## 女性会だより

深町女性会 紙谷 博子

### チャリティー リサイクルショップ

恒例のチャリティーリサイクルショップが十一月三日に、深町民会館で開催されました。深町会員が日用品や、米、野菜などを持ち寄り、欲しい品物が競合する時は、ジャンケンでその品物を手に入れます。  
日頃気の弱い私もこの時はばかりは、一転急変し強気になって必死にジャンケン。一喜一憂、ワイワイガヤガヤ、和気あいあいのうちに欲しいものを手に入れた大満足でした。  
また、会員の一人から心づくしの手作りお寿司の差し入れがあり、皆で美味しくいただきました。参加者は約二十名。▲

### 料理教室



十一月十日、深町民会館で、J.Aの味木先生の指導のもとにテンペ(大豆を原料にしたインドネシアの伝統的な発酵食品)による料理講習を受けました。  
テンペは良質のタンパク質、ビタミンB、ミネラルなどが豊富で、抗酸化性、肥満防止、血栓症予防などの効果があるそうです。  
テンペを蒸しパン、テンペ焼き、テンペ入り混ぜご飯、テンペのポタージュなどを作り、初めての味に舌鼓を打ちました。▲

### 衆議院議員選挙投票状況 (深町分)

広島県内投票率 58.58%  
三原市内投票率 64.44%

性別	有権者数	投票者数	投票率
男	423人	267 (48)人	63.12%
女	460人	294 (65)人	63.91%
計	883人	561(113)人	63.53%

※投票者数の( )内は不在者投票数で、内数。

## 深町各種団体十二月行事予定

- ◆小学校・幼稚園
- ▼深小学校教育研究会 二日
- ▼集金日(◎も同じ) 九日
- ▼貯金日 十日
- ▼深町クリーン作戦 十三日
- ▼廃品回収 十四日
- (予備 二二日)
- ▼個人懇談 十七日
- ▼びよびよハウス◎ 十八日
- ▼終業式 二二日

### ◆女性会

- ▼懇親会
- 上 第三水曜
- 中 第一月曜
- 下 第二日曜



### 展望席

難病の先天性筋ジストロフィーになつた長女の将来を悲観し殺害したとして、殺人罪に問われた父親の判決公判で、大阪地裁は「身動きのできない長女の命を奪つた刑事責任は重大だが、二十七年間愛情を注ぎ献身的に介護してきた」として、父親に懲役三年執行猶予五年の判決を言い渡した。このような類似の裁判例も時々見聞されます。

法律的な見地からすると、適切な判決かもしれません。しかし、人道的に考えると、これは長女よりも父親の立場に立った判決のように思われ、このような寛大な判決は許されたい気がします。父親の苦悩は想像を絶するものがあると思いますが、この長女の命が軽んじられていくように思われてなりません。難病を患っている人は、必死の思いで健康な人の何倍も一生懸命生きようとしているのではないでも自分自身は幸せだと思つても自分自身は不幸だと思つても決められません。幸せは他人が決めるものではなく、自分自身が決めるものだから、自分自身が決めること、自分自身で親をどうにかしたい、この世を去つたのだらうか。難病や障害のある人たちが、社会的に弱い立場にあるために、このような事件が起らないために、このような事件が起らないために、社会の仕組みも真剣に考えなければならぬでしょう。

クリスマスツリーが綺麗に輝く師走、だれもが幸せに新年を迎えられたらと願ってやみませ

人と共に生きる(1)

元深小学校長 帯賀 信義

皆様には、日常生活の中で、本当に一人ひとりが安心・安定して生きがいを感じながら地域社会づくりにご尽力をされていることと思います。今、私たちにあって、日常生活の中で必要なことは、一人ひとりが健康で自分たことは自分でできる、また、自分たちの住んでいる地域社会が活力に満ち、人々がいきいきと生きがいをもつて生きてゆける社会の実現であらうかと思えます。生きることに楽しみ、人と共にあり、一人では輝けない生きれないと思えます。私の考えは、自分の住んでいる地域社会が輝けば、子どもたちも輝くと思っています。人も集まってくる。そのためには、地域の連帯性とお互いの人間関係、信頼関係を構築することが重要であり、心豊かで潤いのある人生を送るために「生きがいの充実」「社会福祉の実現」「健康の保持、増進」「青少年の健全育成」「地域産業の振興」などの推進にご努力されていることと思えます。

深小だより

深の伝統文化 「太鼓踊り」



深小学校 六年 前田依里  
今日は秋祭り。もうすぐ太鼓踊りが始まります。千川神社の境内では、たくさんの人々が私たちが待っているようです。にぎやかな声も聞こえてきます。少しどきどきしてきます。

「ドンドンカンカンドンカンカン。」私たちが六年生は、壮年会の人たちといっしょに二列になってお宮に入って行きました。みんなの視線を感じ、いっぺんにきん張りました。当分踊ってなかつたので、手が痛くなってきました。でも、やめるわけにはいきません。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、弟、妹の顔が見えます。がんばっていい所を見せたいと思います。せまい境内の中は人が多くぶつかりそうになってちよつとこわかったけれど、思いきつて足を上げたり、パチを高くふり上げたりしました。私は太鼓踊りが大好きです。秋祭りに太鼓踊りをするのをずっと楽しみにしていました。

このような多様な課題をまわぐるみの学習を通して解決への筋道を見つけ、心豊かにかつ安定して生活していくことを可能にすることが生涯学習のまちづくりのねらいです。



生涯学習とは、自己の充実や生活の向上のため、自発的な意思に基づいて、人々が生涯にわたって、あらゆる生活場面において行なわれる学習活動を生涯学習と言っています。要するに生まれて死ぬまで学びを忘れないで人生を送りましょうと言うことなのです。そうした生涯学習をすすめるための基本的な考えは、人間は一人ひとり違うのだと認めること、違いを認める中で、人間は一人ひとり良いところを持つているんだという肯定的な捉えをすることが大切です。私は、つぎの詩を生涯学習を進める基本的な考えとして捉えています。

「サーサーエツサツサ。」のリズムにのってくると、みんなのかけ声がだんだん大きくなってきました。みんなははりきっているなと思います。私も負けずに声を出しました。かねと太鼓の音がお宮じゆうにひびきわたっているように思いました。



「ドンドンカンカンドンカンカン。」お宮からの帰り道。少しひんやりした秋の空気がとても気持ちよかったです。今では、五月に重たい太鼓をはじめてかきで練習した日のことや町民大会で赤いはつびにねじりはちまきで踊った時のことがとてもなつかしく感じられます。初めはむずかしかったけれど、壮年会の人たちに何回か教えていただくうちにすぐリズムになれて楽しく踊れるようになりました。私たちがとって最後の太鼓踊りになる「新春ふれあいとんどまつり」では、みんな心を合わせてせ今までの最高の深町太鼓踊りをひろうしたいなと思います。

『わたしと小鳥とすずと』  
金子 みすず作  
わたしが両手をひろげても  
お空はちつともとべないが  
とべる小鳥はわたしのよう  
地面をはやく走れない



わたしは体をゆすつてもきれいな音はしないけどあひの鳴るすずはわたしのようによく歌をうたうよ  
すずと小鳥 それからわたしみんなちがつて みんないい  
こどもは子どもなりに、女性  
は女性として、障害のある人は  
障害のある人として、高齢者は  
高齢者として、外国人は外国人  
として、など、それぞれ認め、  
人権を尊重することが生涯学  
習を展開することが大切だと考  
えています。

短歌・俳句・詩

中組 竹内 博満

紅葉の盛りを過ぎて散る落葉  
人の一生見るが如くに  
霞み渡る空に浮かびし空の月  
儂く白く傾りをさげに  
夜動明け眠ぬ妻に響きぬ  
未世も去と出逢いくれよと

平成十五年十一月 ひろみつ

私の地球サミット(8)

中組 安藤 志保



《大自然》  
アフリカ滞在中に、足を伸ばして、ジンバブエ、ナミビア、ボツワナにも行きました。南アフリカの都市部とはまた違うのんびりとした秀麗な風景で、でも実際、水・食糧は豊かではない状態です。

随筆 イイダさん

中之町 河野 強



旧暦の二月と八月に切った竹が付かない、と老人がいつか言っていた。我が家でも春さきの農閑期になると、その竹を使って桶などの輪替えをするため、イイダさんと呼ばれる職人さんを雇っていた。イイダさんは、桶の修理に必要な道具を細長い箱に入れて、黒帯で背負い桐の下駄を履いてやってくる。そして、道具をおろすやいな巻きをし、縁側の犬走りにむしるを敷いて竹割にとり掛る。あの割るのにむずかしい竹もイイダさんの手に掛かると見るやいな帯状に変わって行く。しなやかな木槌でまるで太鼓を叩くようになり、飯びつ、水桶、みそ桶、大肥桶など、新しく輪替えされた新品のように姿を変えていった。今はもうビンイル製品が桶に取って代わりになった。役ご免の時代になった。昨日倉庫の中を片付け整理をしていたら、昔なつかしい一斗桶が箱も切れずにでてきた。輪替えをするに、立派に無傷で残っていた。

輪替えの時、桶を足で器用に支え、木槌でトントン叩かれるイイダさんの姿が昨日のように思いだされる。もうこの世を去られて久しいが、あの世に行っても、得意にチャカポコ、チャカポコと時代を風刺した阿呆陀羅経をいつても今も笑わせているだろうか。熱い起こすと、胸がジーンと熱くなる。

世界三大瀑布のピクトリアの滝、ボツワナの国立公園のサファリクルーズは、圧巻でした。国立公園でも柵がなく、泊まったホテルの庭にも、イボイノシシやバッハロー、ヒビが入ってきていました。常に子どもを群れの真ん中になるようにしながら進む象の群れ、パツファロを倒したばかりで肩で息を吐いているライオン、傷ついて自分から群れを離れるクウドウ(鹿の一種)、ひたすら口を開けたままじつとしてくるワニ、今まで知っていた動物園の動物たちとは、目が違っていました。鋭い目と同時に、穏やかさを感じる目でした。訳は分からず涙が出てきました。

言葉では言い尽くせない大自然、たくさん動物たちから、生きることに意味を教えられました。